

里地・里山 だより 活動報告号 2023 春

発行
里山フォーラム in 麻生
川崎市麻生区万福寺 1-5-2
麻生市民館 気付け

- もくじ **P1** 第17回わたしのまちのホッとする風景写真展
- P13** '2023里山フォーラム in 麻生”
- P15** あさお里山こどもクラブ
- P6** 里地里山ナチュラリスト養成講座
- P78** 里地・里山カフェ塾 (からむし講座、万福寺人参)

第17回 わたしのまちのホッとする風景写真展 (今編、昔編)

寄せられた150点もの作品からは、足もとの自然に誘われ、まちを歩いて見て出会った一瞬が映し出されていました。昔の写真も大変多く提供され、麻生区の里山の歴史が蘇って来るようでした。麻生市民館のウォールギャラリーで2月13日～3月7日まで展示しました。

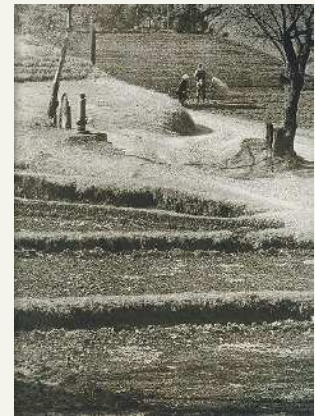
《受賞作品の紹介》(本写真展はコンテストではありませんが賞を設けています。)



麻生区長賞 白井敏彦
「中庭の春」 区役所



麻生市民館長賞 鈴木秀雄
「1960年代の麻生の畜産シリーズ」



里山フォーラム賞 菅原陽子・節生
「修廣寺 今昔シリーズ100点」
その内の一枚



特別エッセイ賞 宮城すみ子
「幻の東林寺堰」「白根耕地」と呼ばれた地の65年間」



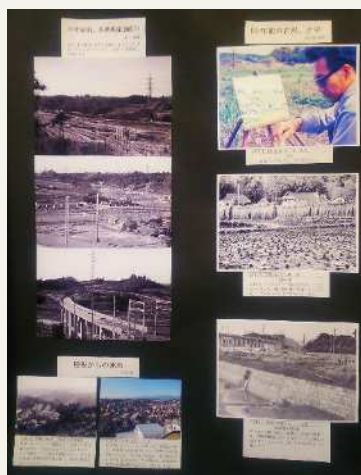
ホッと賞 鈴木孜「水鏡」



ホッと賞 真下智彦
「里山の美り」



早野里山ボランティア
「協奏曲のような作業」



特別賞 ■井上康輔「半世紀前、多摩線開通前年3点」 ■市嶋新「勝坂からの眺め昔・今」 ■荻久保嘉章「50年前の古沢 片平3点」



ホッと賞 荒木英子
「弘法松の夢の跡」



伊藤武夫
「紅葉の下 散歩」

2023 里山フォーラム in 麻生



3月18日(土)

麻生市民館
大会議室

来て・見て・語ろう！ 足元の自然とかがわる暮らし
- 集まり、知って、つながる、豊かな世界 -

コロナの第8波が収まった3月にフォーラムを開催しました。みどりを守り、環境を守り、いのちをはぐくもうという人々のあつい思いが大会議室いっぱいになり、充実した時間と場になりました。



プログラム

- 9:00 団体受付開始 総合司会 石井
- 9:20 一般受付開始
「フォーラム資料集 22」配布
展示パネルやブース見学と交流
- 9:50 ■ 柿生の山伏 高橋昂希 先導
岡田美副区長 堂前雅史代表 齊藤誠館長
- アルプホルン演奏 新井ファミリー
- 第17回わたしのまちのホッとする風景写真展
今編・昔編 入賞発表 表彰式
- 10:10 ■ 挨拶 麻生市民館館長 齊藤誠
環境局企画課から 高見澤俊文
緑政部協働推進課から 坂祥士郎
- 10:20 ■ 基調のお話「足もとの自然と環境教育」
堂前雅史 和光大学教授
(里山フォーラム in 麻生代表)
- 来賓挨拶 麻生区区長 三瓶清美
- 10:55 ■ 展示団体によるトークリレー
「環境を保全し次世代につなぐ」
- 11:55 閉会 地場産野菜紹介



法螺貝とアルプホルンが響き渡ります。



三瓶区長は、情報共有し横展開する有意義なフォーラムである。里山をいかに守り育て繋いでいくかなどと挨拶されました。



堂前先生は環境団体の環境教育への参加は地域への教育支援になり、次世代への継承に繋がり、若い親世代との多世代交流になり、そして市民による学校教育の補完になると話されました。

事例：
岡上小学校 丸山（岡上丸山特別緑地保全地区）



D. ソベル(1949-)「足もとの自然から始めよう」

- ・子どもをエコフォビア（自然恐怖症）にしない方法
- ・4~7歳「共感」ステップ(生きものとなかまになる)
- ・8~11歳「探検」ステップ(川に沿って探検)
- ・12~15歳「社会活動」ステップ(秘密基地を作る)
- ・年齢はおおよそで重なりも個人差もある

学校教育と市民による環境教育の補完

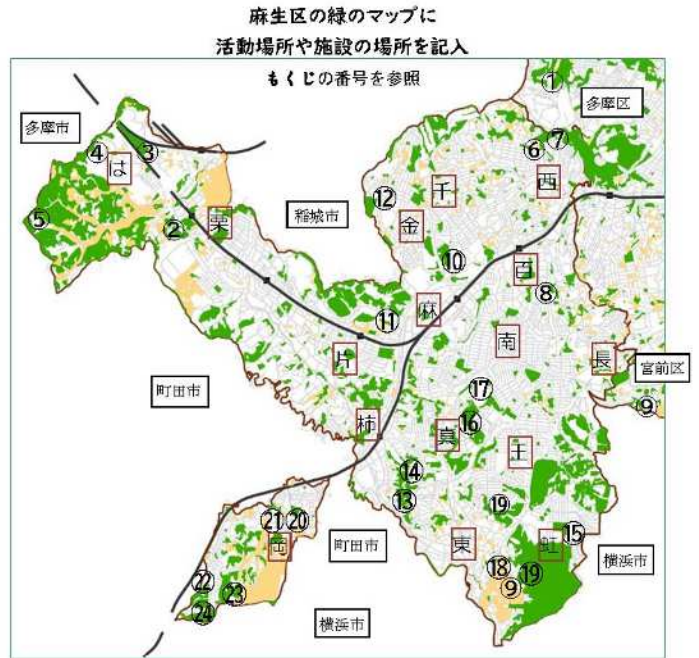
- ・学校
 - ・教員が交替する
 - ・教科カリキュラムの制約
 - ・学習進度との調整
- ・市民団体
 - ・メンバーが継続
 - ・カリキュラムの制約がなく、好きになることを優先できる
 - ・探検、採集の要素を導入しやすい
 - ・「好きな場所」「特別な場所」を提供しやすい



齊藤館長は里山は麻生区の宝であると話されました。高見澤さんは生物多様性の取組について、坂さんは多摩丘陵の緑が守られながらあることに感謝し、次世代につなぐことや緑化フェアについて話されました。

活動紹介のパネル展示

区役所ロビーに3月11日～3月17日まで事前展示を行い、18日は大会議室に展示しました。多様な視点の多様な展示です。見応え読み応えがありました。(一部を紹介)



トークリレー

ひとまとまりの自然や文化がある流域ごとの発表です。『フォーラム資料集 22』を活かしながら、20団体がその内容を短時間に見事に集約させて発表し合いました。(下段写真は左から発表順)



□は麻生区内の川崎市立小学校の位置です。
 ①は野小 ②栗木台小 ③戸平小 ④相生小 ⑤網上小
 ⑥柿生小 ⑦ヶ丘小 ⑧禅寺中央小 ⑨福寿小
 ⑩主小 ⑪園小 ⑫月ヶ丘小
 ⑬ついで ⑭当小 ⑮白百合小 ⑯みどり
 ⑰別門の『フォーラム資料集 小学校の紹介』参照

『フォーラム資料集 22』(団体・施設 54頁、麻生区内小学校 33頁)の内容は麻生区役所ホームページ里山フォーラムにもアップしています。



はるひ野里山学校 水辺のある里山を守る会 多摩美みどりの会 麻生多摩美の森の会 高石みどりの会 はぐるま稗原農園



麻生プレーパークを創る会 森もりクラブ 柿生中学校区地域教育会議 柿生小学校計画委員会 柿生の里クラブ まちはミュージアム-遊歩道ファンクラブ 花と市民参加の会'コスモス' があでん・ららら



早野聖地公園里山ボランティア 和光大学・かわ道楽 NPOかわさき自然と共生の会 和光大学地域連携研究センター 麻生区クールアース推進委員会 かわさきかえるプロジェクト 麻生ヤマユリ植栽普及会

あさお 里山こどもクラブ

こどもたちが育つ足元の麻生の里地里山の恵みや不思議を
探検・発見、そして体験するプログラム。
耳を澄まし目を凝らし、自分の手と体と心で感じ、
自分の頭で考えましょう。
「不思議」がむくむく湧いてきたら
調べてみよう、聞いてみよう！

第1回 10月16日(日曜) 自然は、友だち 秋の虫・草や木の実を探そう ・王禅寺ふるさと公園(市制60周年記念総合公園) ・講師 高柳芳恵(ナチュラリスト)

もうすぐ市制100周年を迎える川崎市の60周年を記念して市民が関わって創られてきた公園。年月が経ち樹々も風格が出てきました。どんぐりが7種類も探せます。拾ってみよう！子どもたちは虫も探します。(シラカシ、スダジイ、コナラ、マテバシイ、クリ、クヌギ、アラカシ)



セミの産卵の跡



「知るって楽しい」これから変わるかも」とママの声



第2回 10月30日(日曜) 地形と湧き水そして生きものたち ・黒川よこみね緑地 ・講師 窪田迅郎(水辺のある里山を守る会)

はるひ野駅から徒歩5分の近さにある緑地です。緑地の山を登ったり降りたりしていると湧水がある地形を感じてきます。池や流れのある広場に出て生き物探しです。トンボ バッタ チョウチョ 木の実・草の実見つけたかな？(2枚の[チェックリスト](#)があって大人は助かりました)

